

日本臨床環境医学会 病院・高齢者施設環境分科会 2022 年度活動計画

代表 柳 宇, 20220605

1. 活動内容

(1) 種類別高齢者施設におけるエアロゾル感染対策方法の提案

オミクロンによる第6波においては、高齢者施設内での感染者数が最も多いことは、全国知事会や東京都のモニタリング会議で報告されている。現在、国や東京都などが高齢者施設におけるエアロゾル感染対策の基本方針や対策例を取りまとめている。高齢者施設の種類が多く、また種類によって空調や換気方式が異なっている。そこで、本分科会では、学会の強みを生かし、種類別高齢者施設におけるきめ細かなエアロゾル感染対策方針をまとめる。

(2) 病院・高齢者施設における Covid-19 感染時の空調・換気運用状況の調査

一昨年度では、新型コロナ感染症患者を受け入れる病院に対するアンケート調査を行った。昨年度では、本分科会のメンバーで都内にある病院の換気に関するアドバイスを行った。また、仙台市内にある高齢者施設におけるヒヤリング調査と環境測定を行った。

今年度は、昨年実施できなかった高齢者施設におけるアンケート調査を行う予定である。病院の調査については、情報公開されていない病院が多く、難しいと予想されるが、デルタによる第5波流行期間中に調査したことがある病院について、引き続きその後の換気などの対応についてヒヤリング調査を行う。

(3) 2023 年度本学会年次大会での成果発表

これまでの成果をまとめ、年次大会で発信する。

2. 組織

代表：柳 宇（工学院大学）

幹事：尾方壮行（東京都立大学）

委員：東 賢一（近畿大学）、井田 寛（日本設計）、鍵 直樹（東京工業大学）、開原典子（国立保健医療科学院）、小林健一（国立保健医療科学院）、金 勲（国立保健医療科学院）、嶋崎典子（国立感染症研究所）、野崎淳夫（東北文化学園大学）、包理（日本無機）、長谷川兼一（秋田県立大学）、林 基哉（北海道大学大学院）、本間義規（国立保健医療科学院）、森本正一（新菱冷熱）、吉野 博（東北大学）

オブザーバー：杉本遼太（日本設計）

以上